日本循環器学会の歴史

現在

55.000 / 50.000 / 45.000 / 40.000 / 35.000 / 30.000 / 25.000 / 20.000 / 15.000 / 10.000 / 5.000 / 0（会員数）

- 1935年4月　日本循環器学会の前身である日本循環器病学会が京都大学　眞下俊一教授により東京大学　呉健教授　九州大学　金子康次郎教授に呼びかけられ、京都にて産声を上げる（初年度会員数２９名）
- 1935年4月　日本循環器病学（Circulation Journal）第１巻１号が発刊された
- 1935年5月　日本における心筋梗塞の病理所見つきの症例が報告された（治療及び処方：16:960-970）
- 1936年3月　日本循環器病学第１回総会講演会が京都帝国大学生理学講堂で開催される
- 1938年11月　心電図所見を明記した心筋梗塞の日本における最初の症例が報告された（臨床の日本：6:750-762）
- 1944年1945年　第二次世界大戦のため、学術大会（学術集会）が中止になる
- 1945年9月　創立者のひとりである眞下俊一先生が広島における医療調査中に殉職された
- 1946年　本会の会員数が１,０００名を超えた
- 1946年11月　東京大学　佐々貫之教授を会長として、学術大会（学術集会）が復活した
- 1952年～1970年　幾多の変遷を経て、京都大学　前川孫二郎教授を初代理事長とする本学会の理事会組織が整備、確立された
- 1953年　学会活動の国際化に対応するため、学会と機関誌の英文表示が「The Japanese Circulation Society (Journal)」に変更された
- 1964年5月　第３回アジア太平洋心臓病学会（前川孫二郎先生会長）が京都にて開催された
- 1967年　日本初のCCU（Coronary Care Unit）が東京女子医科大学　日本心臓血圧研究所にて開所された
- 1970年5月　日本心臓財団が設立された
- 1975年　本会の会員数が５,０００名を超えた
- 1975年　日本心臓財団佐藤賞の第１回授賞式が行われた
- 受賞論文「高血圧自然発症ラットの種々亜系における血管病と慢性食塩負荷の影響」（狭間章忠先生　京都大学）
- 1978年9月　第８回世界心臓学会（美甘義夫先生会長）東京にて開催された
- 1981年1月　心臓のイメージを描いた日循のシンボルマークが初めて学会誌を飾る（作者　林　博史先生　名古屋大学第一内科）
- 1981年　日本循環器学会が社団法人として認可された
- 1987年　本会の会員数が１０,０００名を超えた
- 1987年　現在のWHF（World Heart Federation）の前身であるISFC国際心臓連合（International national Society and Federation）の第５代会長に京都大学　河合忠一教授が就任した
- 1989年　循環器専門医制度がスタートした
- 1992年　本会の会員数が１５,０００名を超えた
- 1997年　心筋梗塞　心不全、不整脈、高血圧等の診療に関するガイドライン作成を目指した研究活動を立ち上げ、日本心臓病学会、日本心血管インターベンション学会、日本高血圧学会等の協力を得て、３年計画で診療ガイドラインが作成された
- 1997年　本会の会員数が２０,０００名を超えた
- 1997年　臓器移植法が成立し、最初の心臓移植が大阪大学附属病院にて行われた
- 1992年2月　臓器移植法が成立し、最初の心臓移植が大阪大学附属病院にて行われた
- 2000年3月　第６４回学術集会（会長松尾裕英先生　香川医科大学　大阪国際会議場）から学会での公用語が英語となる
- 2001年　第６５回学術集会（会長後藤重成先生　京都大学　国立京都国際会館他）　内容の一部がインターネットを介して、その映像が世界に配信されるようになる
- 2004年　一般市民によるAED使用が認可された
- 2004年　国内循環器病データのベースとなる、JROADがスタートした
- 2004年1月　禁煙推進学術ネットワークが誕生した
- 2006年　その後日本癌学会（2005.9）日本歯周病学会（2006.10）日本麻酔科学会（2008.3）が参画し、２０２１年３月現在３２学会で活動を行っている
- 2009年　日本循環器学会禁煙推進部公式　禁煙啓発キャラクター　すわん君が誕生した（年齢は永遠の３才）
- 2010年　本会の会員数が２５,０００名を超えた
- 2011年3月　東日本大震災が発生　当月に実施するはずだった日本循環器学会に関する企画、各種委員会、総会、理事会をすべて中止した。日循としての災害プロジェクトを立ち上げ、多くの会員が現地に入り、被災者の支援を行った
- 2011年　男女共同参画委員会スタート、その後２０１８年にはダイバーシティ推進委員会と改称し、更に活動の幅を広げている
- 2012年4月　国の政策による公益社団法人改革への対応として、これまでの社団法人から一般社団法人へ移行した
- 2016年3月　第８０回日本循環器学会（会長下川宏明先生　東北大学）に天皇・皇后両陛下の拝謁を賜った
- 2016年12月　脳卒中と循環器病第一次５ヵ年計画を発表した
- 2017年　FJCS（Fellow of Japanese Circulation Society）認定制度をスタートした
- 2018年1月　第１回基礎研究フォーラム（会長小室一成先生　東京大学）が品川インターシティフォーラムで開催される
- 2018年3月　高円宮妃殿下が日本心臓財団の名誉総裁に就任された
- 2018年10月　Circulation Reportsが第１巻１号が発刊された
- 2018年11月　第１回日本脳梗塞循環器学会（会長島　清彦先生　国際医療福祉大学三田病院）が浜松町コンベンションホールにて開催された
- 2018年12月　循環器病対策基本法が成立した
- 2019年3月　第８３回学術集会（会長小室一成先生　東京大学）から学会公式ツイッターによるTweet the Meetingを情報広報推進部会が国内医学系学会では初めて本格導入した
- 2019年4月　会員管理システムがリニューアルされた
- 2020年3月　日本循環器学会COVID-19対策特命チームが結成され、医療体制維持に向けた提言や研究を論文化し多数発表した
- 2020年4月　日本の循環器系学会が結集して日本循環器連合がスタートした
- 2020年4月　日本循環器学会ホームページ全面リニューアル
- 2020年5月　公益社団法人日本心臓財団が創立５０周年を迎えた
- 2020年7月　新型コロナウィルス感染症の影響で第８４回日本循環器学会学術集会（会長木村　剛先生　京都大学）が初めて完全オンラインで開催された
- 2020年10月　循環器病対策基本法に基づき、対策推進基本計画が閣議決定され、各都道府県がその地域事情に合わせた脳卒中・循環器病に対する都道府県計画確定することになった
- 2020年　本会の会員数が３０,０００名を超えた
- 2021年3月　新型コロナウィルス感染症の影響で第８５回日本循環器学会学術集会（会長斎藤能彦先生　奈良県立医科大学）が初めて現地開催 & オンラインのハイブリッド型にて開催された
- 2021年3月　心不全療養指導士が誕生した

Circulation Reports 第１巻１号

天皇皇后両陛下　拝謁
第 80 回学術集会

すわん君

CCU 創設時

日本循環器病学第１巻１号

京都大学医学部旧生理学講堂